

ひろしまの遺跡

第116号

弥生時代中期の住居跡発見

地頭分溝渕遺跡 第2次調査 (福山市瀬戸町)



竪穴住居跡



磨製石斧

地頭分溝渕遺跡のD区で確認した竪穴住居跡は、上面が後世の削平を受けていますが直径約6mの円形になると思われます。床面上から炭化材や弥生時代中期頃の土器片や出土していることから弥生時代中期頃の住居跡と考えられます。昨年度の調査でもF区の南端で同時期の溝を確認しています。当地域では初例の調査となりました。

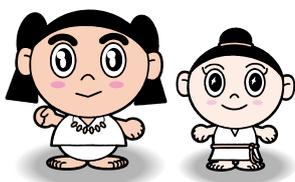
また、住居跡近くの土器溜まりから古代の須恵器などと一緒に磨製石斧が出土しています。土器溜まりは山側からの流入と思われることから、遺跡の背後の丘陵斜面には弥生時代や古代の遺跡が存在している可能性が高いと思われます。



土器溜まり



古代の須恵器



ひろちゃん

やよいちゃん

発掘調査速報

① 地頭分溝渕遺跡(第2次) (福山市瀬戸町)

調査期間 平成28年5月9日～7月27日

地頭分溝渕遺跡は、北流する瀬戸川に東面した標高約22～27mの丘陵緩斜面に立地しています。

調査は、前年度調査を実施したD区とF区の下層に存在する遺構が対象で、竪穴住居跡1軒、段状遺構1基、土坑1基、溝状遺構10条、柱穴などを確認しました。

D区では竪穴住居跡以外にも溝状遺構を10条確認しています。その多くは山側(西側)が少し高くなっており、山側が後世に削平されていることがうかがえます。規模については長さが7～18mと様々ですが、概ね南北方向に伸びていることや、あまり重複関係がみられないことなどから、ほぼ同じ所で少しずつ場所を移しながら造られたと考えられます。

F区で確認した段状遺構は長辺がほぼ南北に並行する11×6m(現存値)で、長辺の山側に壁溝が巡っています。底面はほぼ平坦で、東側で自然地形の傾斜となります。D区で検出した溝状遺構の多くも形態や規模などから段状遺構の可能性が高いと思われます。

今回の調査では、弥生時代から中世の遺構を確認しました。出土した遺物は、草戸千軒町遺跡や長和荘と併行する時期(鎌倉～室町時代)の土師質土器など中世の土器もありますが、大半を占めるのは8～9世紀頃の古代の土器です。また、溝状遺構や土坑など遺構の多くもこの時期のものと推定でき、第1次調査で確認した中世の集落が成立する以前の古代の集落の存在が明らかとなりました。このことは長和荘が古代の集落をベースとして成立した可能性を示唆しており、荘園となる素地があったことを示していると思われます。

平成28年7月9日(土)に遺跡見学会を実施し、約60名の方が参加されました。

(辻 満久)



空中写真 西から



D区 溝状遺構



F区 段状遺構



遺跡見学会の様子



湯伝遺跡 (福山市山手町)

調査期間 平成28年4月18日～6月10日

湯伝遺跡は、芦田川西岸の高増山（標高398.9m）から派生する山塊の南東に広がる平野部の低丘陵東側裾部に立地しています。この地域は、芦田川から流れ出てきた堆積土により形成された沖積地であり、一帯は古くから芦田川の氾濫原と考えられています。

調査区は東からA区、B区、C区として進めますが、B区及びC区については、後世に畑地造成のための大規模な削平等が行われており、遺構は確認されませんでした。

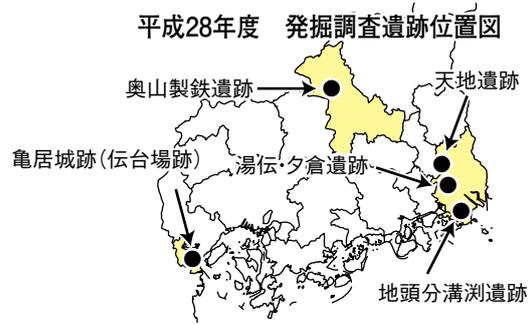
A区では、試掘調査で確認されていた遺物包含層を遺構の検出面まで人力により掘り下げを行いました。調査の結果、土坑2、溝状遺構5、ピット10数個、性格不明遺構1を確認しました。溝状遺構は、調査区東側の斜面下側に折り重なるように掘り込まれており、規模についてはいずれも調査区外へ延びるため不明です。

A区で確認した土坑・溝状遺構・ピットの時期は、出土した遺物から弥生時代前期末から中期と考えられ、遺跡の背後の丘陵には弥生時代の集落が存在していたと思われます。

出土した遺物は、ほとんどがA区の遺物包含層からで弥生土器、土師器、須恵器、土師質土器、青磁、瓦、石鏃、石器の製作時の剥片があります。また、中世の輸入陶磁器なども出土していることから、当該期の遺構が存在していた可能性も考えられます。特に、弥生時代前期の遺物については、この地域への稲作文化の伝播を考える上で重要な資料を提供したと言えます。

平成28年8月11日（木）に、福山市教育委員会が平成27年度に調査を実施した成果とあわせて報告会を開催し、約80名の参加者がありました。

(金石明久)



空中写真 北東から



A区溝の断面



A区 遺構検出状況



報告会の様子



亀居城跡(伝台場跡)(大竹市小方町)

調査期間 平成28年5月16日～7月1日

遺跡は近世城郭亀居城跡の位置する丘陵（標高 80m）の南麓（標高 14～21m，比高 10～17m）に立地しています。

調査の結果，北から南に延びる丘陵尾根の端部を削平して上・下段の平坦面を造り出していました。上段大半が北側の調査区外に広がっており，全容は不明ですが，中央付近を削り出して東西 13m×南北 2m，高さ 0.5～1.5mの大きさの小さな平坦面を設けていました。下段は上段の南東側に位置する東西 11m×南北 5mの規模の平坦面で，西端には幅 0.4～1.2mのスロープが造り出されています。下段平坦面と上段平坦面の高低差は 4mで，斜面は 40°～60°の角度で急峻となります。調査区内には二段の平坦面以外には人為的な造成は認められませんでした。

これらの平坦面や斜面に伴う出土遺物は少なく，椀・皿や壺などの陶磁器の小片のみですが，なかに 19 世紀代のいわゆる広東碗形の磁器碗片が含まれています。

今回の調査では，二つの平坦面を検出しましたが，柱穴・溝などの掘り込みは検出しておらず，出土遺物も僅少であることから，遺跡の性格や年代を特定するのは困難です。しかし，調査区周辺の地名が「台場」であることや大竹市史の記載から，幕末期の台場跡(砲台跡)の存在が考えられます。しかし，今回の調査ではそれを積極的に裏付けるような遺構や遺物を検出することは出来ませんでした。ただ，出土遺物のなかに幕末期の磁器碗が存在することから考えて，調査区内に幕末期の活動の痕跡が認められることは確かであり，今後周辺地域の調査の進展により，幕末期の台場跡が明らかになる可能性は十分にあると思われれます。

(梅本健治)



空中写真



上段平坦面検出状況



下段平坦面作業風景



調査後 遠景

④ 天地遺跡(第3次)(福山市新市町)

調査期間 平成28年8月29日
～10月21日

遺跡は新市町の北部・常金丸地区に位置し、昨年度までの調査では、弥生時代の竪穴住居跡や古代の建物跡、中世の土坑墓などが多数見つかっています。また、遺物では石帯などが出土しています。

今年度の調査は、昨年度に続く丘陵上と北側の斜面地の発掘調査を行っています。現在までの調査では、住居跡はみつかりませんが、土坑を5基と溝・段状遺溝2基を確認しています。



⑤ 奥山製鉄遺跡(三次市君田町)

調査期間 平成28年8月22日
～11月11日(予定)

遺跡は三次市北部の君田町の西方の山中に位置し、近世には砂鉄採取のかんな流しが盛んに行われた中心地にあります。遺跡の周辺には、かんな流しが行われた痕跡が明らかに残っています。調査前は、鉄滓が多数散在し溶鋳炉の炉壁らしきものも見られました。

現在まで、明確に炉跡といえる遺構は確認できていませんが、これからの調査によって製鉄炉か鍛冶炉が確認できれば、その操業の時期や方法が明らかになるものと期待されます。



⑥ 夕倉遺跡(福山市津之郷町)

調査期間 平成28年11月中旬
～1月下旬(予定)

遺跡は福山市街地から芦田川を隔てて西側に位置する津之郷町の丘陵斜面と水田地帯に立地し、弥生～古墳時代から中・近世に及ぶ集落遺跡と考えられます。

付近には弥生時代の貨泉を出土した本谷遺跡や弥生～古代の土器が大量に出土したザブ遺跡などがあり、夕倉遺跡でも新たな発見が期待されます。



作業風景



調査風景



表土掘削後



鉄滓・炉壁が出土



調査予定地(水田)

知られざるひろしまの遺跡探訪

広島発！ローカル(乗合)列車・バスで行く遺跡探訪ツアー

日ごろ個人では見学することが難しい遠隔地の遺跡をローカル列車や乗合バスで訪ねる体験をとおして、広島県の歴史を体験的に学ぶ企画を、平成26年から行っています。

第1回は、5月28日(土)「がんばれ三江線！栗屋に司馬遼太郎の足跡を訪ねて」として、スタッフを含めて23名が三次市と島根県を結ぶ三江線に乗車して中世の城跡や三次の城下町を地元のガイドさんの案内とともに散策しました。

司馬遼太郎も訪れた鳳源寺の庭園などを見学し、午後は雲海を見るのに有名な高谷山に残るかな跡と、鹿島神社を見学しました。初夏の三次は深緑が美しく、三江線の車窓からの眺めも見事で、行く先々で一行を迎えてくれました。

第2回は、「旧可部線の街・加計の歴史と文化と町並みと・・・」として、スタッフを含めて34名が雨の中を加計へ向かって出発しました。現地では、地元のたたら製鉄の歴史を伝える活動を行っている陶芸家の林俊一さんに、たたら紙芝居や加計の歴史の講話の後、歴史民俗資料館を見学しました。午後は地元の方が保存している木炭車や、加計の町並みを散策しました。かつてたたらで栄えた加計の町は、今でも近世の雰囲気が残されています。長尾神社には「隅屋鉄山絵巻」を描いた画家の絵馬が残されています。江戸期の天井画も素晴らしく、寝転がって見学していました。



がんばれ三江線



林さんによる講座



懐かしい？



鹿島神社で一休み



尾関山にて



鳳源寺散策



芸術鑑賞です。



気になる店を発見！



長尾神社 絵馬

回	実施日	遺跡探訪の内容
第3回	10月22日(土)	「海風鉄道・呉線で海軍建造のコンクリート製の船発見!!」(呉市安浦町)
第4回	11月19日(土)	「私鉄・井原鉄道で新発見!! 御領古墳群!!」(福山市神辺町)

※詳しくは当調査室のHP等で広報します。

南観音考古学教室Ⅳ

見る・聞く・やってみるの考古学

遺跡の探訪や出土品を見ながらその技と心を学ぶことをとおして、広島県の歴史や文化への理解を深めていただくことを目的に、広島市南観音公民館と共催で実施しています。

第1回 こねこね教室—土器づくり—

7月23日(土) 参加者26名。

最初に土器についての説明を聞き、製作に取り掛かりました。粘土紐を輪にして積んでいく作業に手こずりながら、個性豊かな作品が出来上がりました。



ひたすら こねこね・こねこね

集中!

第2回 きらきら教室—勾玉づくり—

8月3日(水) 参加者44名。

最初に、勾玉についての説明を聞き、砥石・棒ヤスリで削りながら各自思い思いの形に整えていきました。最後に水をつけて磨くと、キラキラと輝く勾玉が完成しました。



大人も真剣に

やっと完成

第3回 マル秘お仕事拝見・鑄造体験

8月25日(木) 参加者22名。

当調査室において、収蔵庫、図書室や遺物の洗浄・復元・実測などの整理作業を見学したあと、和同開珎の鑄造体験を行いました。溶かした金属を鑄型に流し込み、冷え固まったら磨いて完成です。

鑄型を開けて銭を取り出すときには、参加者から歓声があがりました。



仕上げの最終段階

土器収蔵庫の探検

第4回 てくてく教室—西区の史跡を歩こう—

9月23日(土) 参加者7名

広電草津駅に集合し、中世・近世における草津の歴史を学びながら、周辺のお寺や神社を散策しました。

行者山からは瀬戸内の景色が一望でき、疲れも飛んでいきました。



下を向いて歩こう
やっと半分



絶景かな!!

インターンシップ

～大学生2名が調査室の仕事体験～

8月22日(月)～9月2日(金)のそれぞれ5日間、安田女子大学の学生が、土器・鉄器の洗浄、ネーミングや図書資料の整理・保管など、当調査室の仕事を体験しました。

感想として、「遺物の展示や本に載るまでにかかる作業の大きさ・大事さに気づくことができました。」「話を聞くだけでなく、仕事現場を実際に体験することでより理解が深まった。」とあり、貴重な体験になったようです。



金属器をアルコールで洗浄中

受領図書の整理作業中

ひろしま考古学講座Ⅴ

発掘から推理するⅡ- ご案内

会場 広島県立総合体育館 大・中会議室
(広島市中区基町4番1号 TEL: 082-228-1111)

定員 100名

時間 各回とも13時30分～15時30分(開場は13時～16時)

聴講無料

回	期 日	演 題	講 師
1	平成28年 12月25日(日)	妻木晩田遺跡最後の首長墓 仙谷8号墓の謎に迫る - 妻木晩田遺跡(西伯郡大山町・米子市)の発掘調査から -	長尾かおり 鳥取県立むきぼんだ史跡公園
2	平成29年 1月9日(月)	龍と船を描いた弥生土器 - 新谷森ノ前遺跡(今治市)の発掘調査から -	松村さを里 (公財)愛媛県埋蔵文化財センター
3	2月11日(土)	備後国府の発見 - 調査から国史跡指定まで -	道田 賢志 府中市教育委員会文化財係
4	2月25日(土)	錦川河口の中世居館跡と一括出土銭の謎 - 中津居館跡の(岩国市)の発掘調査から -	藤田 慎一 山口県・岩国市教育委員会
5	3月4日(土)	福島正則と亀居城の石垣 - 亀居城跡(大竹市)の発掘調査から -	恵谷 泰典 当事業団埋蔵文化財調査室
6	3月19日(日)	平和記念資料館の発掘と近現代の考古学 - 平和記念資料館(広島市)の発掘調査から -	田村 規充 (公財)広島市文化財団文化財課

あとがき

- ・季節もあつという間に秋を迎えました。発掘調査も雨にも負けず順調に進んでいます。これから調査が始まる遺跡もありますが、職員の多数は遺物の実測・写真撮影・原稿など報告書の作成に向かいます。
- ・平成29年1月に「ひろしまの遺跡を語る」を予定しています。詳細が決定次第、HPでお知らせします。(S. Y)

(公財)広島県教育事業団事務局埋蔵文化財調査室報 ひろしまの遺跡 第116号

発行日 平成28年10月31日
編集 (公財)広島県教育事業団事務局埋蔵文化財調査室
〒733-0036 広島市西区観音新町4-8-9
TEL(082)295-5751 FAX(082)291-3951
ホームページ <http://www.harc.or.jp>
E-mail maibun@harc.or.jp
発行 (公財)広島県教育事業団
印刷 株式会社 エル・コ